

大学フォーラム

第3回シンポジウム

すべての市民に開かれた 大学像を求めて

— 多様性尊重の視点から —

学術と高等教育の中心としての大学は、すべての人々に開かれ、多様性が重んじられるものでなければなりません。狭い経済政策的視点に傾斜した政府主導の大学改革の是非を問いながら、これからの大学像を、めざすべき研究のあり方、市民性とジェンダー、多様な学生の成長、大学運営のあり方などの観点から考えてみたいと思います。

大学と学術
— 現状と課題 —

東京大学宇宙線研究所長

梶田 隆章

市民性の涵養に資する

大学と学術 — ジェンダーの視点から

奈良女子大学副学長 / 日本学術会議副会長

三成 美保

学生の成長・
発達に向けて

愛知教育大学准教授

中山 弘之

大学ガバナンス論の再考

— 行政学の立場から

立命館大学教授

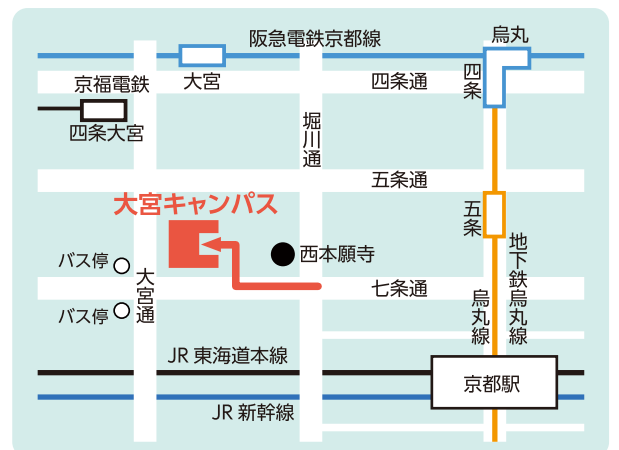
堀 雅晴

11/2 2019 土 13:30 [開場13:00]
参加費無料 / 申込不要

龍谷大学 大宮キャンパス
清和館3階ホール

大学フォーラムとは

「大学の危機をのりこえ、明日を拓くフォーラム」（略称「大学フォーラム」）。梶田隆章（東京大学宇宙線研究所所長）、白川英樹（筑波大学名誉教授）、広渡清吾（日本学術会議元会長）ら51人の大学人が呼びかけ人となって、大学が直面する危機を克服するための道を探り、行動するための場として、今年2月に立ち上げました。



「京都」駅から徒歩約12分、市バス「七条大宮・京都水族館前」下車すぐ

[主催] 大学の危機をのりこえ、明日を拓くフォーラム

<http://univforum.sakura.ne.jp/wordpress/>

[お問合せ先] univforum7@gmail.com

大学フォーラム
大学の危機をのりこえ、明日を拓くフォーラム